

# 彼方 【かなた】

校長通信  
H31.2.12  
Vol.31

## 【後悔先に立たず】

「後悔」は「後から悔やむ」と書きます。ことを起こす前から悔やむことはありません。昔から「後悔先に立たず」とも言われます。

最近テレビで、外

食チェーン店やコンビニのアルバイト店員が不適切な行為をし、その動画をアップしたことで大きなニュースとなつてい



ます。「何を考えているかわからない!」「外で食事をする気にならない!」「なぜこんなのをアップするのか?」等々の反響でSNSが炎上するほどです。

この事件では二つのことが、問題になっています。一つは、アルバイト先での不適切な行為です。もう一つは、それを撮ってネット上にアップしたことです。最初の行為は、お客がいなかったから、店の責任者がいなかったから、仲間同士の悪ふざけだからで済まされるような行為ではありません。お店を運営する一員としての自覚がなさ過ぎです。もう一つの行為も、SNSに対する認識の甘さです。一度ネット上にアップしたものはいくら削除しても消えないのです。最大15秒しかアップできない動画だったり、24時間後に自動的に削除される動画だったり、最近では動画を簡単にアップしやすくなっ

てきています。多少心配な動画でも、この環境なら「まあ大丈夫か」というような軽い気持ちでアップしているのです。以前「バカッター」という言葉が流行語になったこともありましたが、バカな行為を、仲間内で笑いを取るためにSNSにアップしてはならないことを、猛省しなければなりません。

実際に問題を起こしたアルバイト店員は、バイト先を解雇されるだけでなく、器物破損や名誉棄損、業務妨害等といった刑事訴訟や民事訴訟の対象となつてしまいます。いくら心から謝罪しても、法的措置を取られたり、一千万円から二千万円ともいわれる高額の損害賠償金を請求されたりするのです。それは、直接問題を起こしたアルバイト店員だけでなく、アップされた動画をコピーし、拡散させた第三者も同じように処罰対象となつてしまいます。何のために大学生になり、アルバイトをしていたのかわかりません。

これらのことを「バカな奴ら」と対岸の火事のように笑って見ていてはならないように思います。彼等の二の舞にならないように、自分の所属する集団（学校や学年、学級、部活等）のブランドを傷つける行為やその行為をSNSにアップしたりすることの怖さを学んでいきたいものです。



この写真は、地下鉄のホームから線路に飛び降りて、またホームに上がってくる仲間の様子を写

した9秒足らずの動画です。この動画のせいで、その生徒は退学処分となり、動画をアップした生徒も停学処分となりました。彼女が在籍していた高校の入学希望者も翌年度に激減したと聞きました。

誰も見ていないからこそ、〇〇高校の生徒としての自覚を持ち、高校生らしい行為を選択していかなければならぬと思います。白山中生も同じです。登下校の際に交通ルールを無視して自転車で斜め横断したり、信号無視したり、横一列になって他の歩行者の邪魔になったり、部活動で遠征したときに、挨拶ができなかったり、マナーが悪かったりといろいろありますが、これらはすべて社会に出たときに、自分が所属する集団（会社や家族、地域）のブランドを上げる行為なのです。私たちが「白山ブランド」を作り上げるために、進んで挨拶ができたり、心をひとつにして合唱を作り上げたり、気づきの清掃を行うのも、すべては将来、社会人として生きていくための練習です。リーダーシップを発揮し、誰かのために、みんなのためという思いを持ち、課題に気づき、よりよく変化を創り出せるように練習していきましょう!

そういうえば、「3年A組」というドラマの中で先生が言っていた台詞に「このSNSをアップすることで、どれだけの人に迷惑がかり、傷つけるかを考えたことはあるのか!もつと考えろ!お前の発するものが、人の命を奪う可能性だってあるんだぞ!もつともつと本気で考えろ!」という熱いシーンが心に浸みてきます。発する言葉は、「言霊」。本当に力を持っています!